

教科等研究会（中学校道德部会）

令和4年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

自己を見つめ 自己の生き方についての考えを深める道德科授業の創造

2 研究経過

	期 日	場 所	内 容
第1回	6月14日(火)	木山中学校	○研究テーマ協議、研究計画、研究組織づくり等
第2回	9月27日(火)	清和中学校	○研究授業及び授業研究会 教材名:「宝塚方面行きー西宮北口駅」 (「新しい道德2」東京書籍) 内容項目:C(10)遵法精神、公德心 授業者:山都町立清和中学校 教諭 井芹 涼香
第3回	11月 8日(火)	龍野小学校	○研究発表会へ参加 【公開授業】 ・授業者:第1学年中村 智奈 教諭 教材名:「そろっているけど」 出典:「生きる力」日本文教出版 ・授業者:第4学年 甲斐なつき 教諭 教材名:「ふるさとのたから 清和文楽」 出典:「くまもとの心」熊本県教育委員会 ・授業者:第6学年 岩永 光央 教諭 教材名:「二十五人でつないだ金メダル」 出典:「生きる力」日本文教出版 【授業研究会・全体会】
第4回	2月 7日(火)	木山中学校	○各学校における道德教育取組の実践報告 ○今年度の研究のまとめ

3 研究の概要

(1) 研究の内容

上益城郡教科等研究会全体テーマ『児童生徒一人ひとりが輝く「分かる・できる」「楽しい」授業づくり』を受け、本部会では、研究テーマを「自己を見つめ 自己の生き方についての考えを深める道德科授業の創造」に設定した。

学習指導要領解説には、「自己を見つめる」とは、中学校段階では、様々な道徳的価値について、自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省することであると書かれている。

また、中学生の時期は、人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかという人間としての生き方を主体的に模索し始める時期で、人間にとっての最大の関心は、人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかということにあり、生徒が人間としての生き方について考えを深められるように様々な指導方法の工夫をしていく必要があるとも書かれている。

研究テーマについて、学習指導要領をもとに議論していく中で、生徒が自分との関わり、つまりこれまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら考えを深めていき、自己を見つめ、さらに、道徳的価値の理解を基に、他者や自己との対話を通して自己の人間としての生き方についての考えを深めていくような授業づくりが重要になるのではないか、という意見にまとめ、上記の研究テーマのもと、研究を進めていくことにした。

(2) 成果と課題

① 成果

第2回研究会では、授業研究会を実施し、話し合い活動の工夫やICTの効果的な活用方法について実践を出し合いながら協議することができた。

話し合い活動においては、「活発に意見が出されていてよかった。意見の中に理由付けをしていくとさらに考えが深まるのではないか」、ICTの活用については、「授業支援クラウド“ロイロノート”を使って気持ちの変容を可視化されていてわかりやすかった」などの声が聞かれ、有意義な会となった。

②課題

研究テーマを意識した実践があまりできなかった。共通の実践事項を決めて取り組んでいく必要があった。また、研究授業についての事前検討会を一度しか行うことができなかったため、複数回実施するなどして全部会員で授業づくりを行う体制をつくっていきたい。

4 実践事例

(1) 授業の概要

今回の教材「宝塚方面行き一西宮北口駅」は、「私」を大切にする心と「公」を大切にする心の関係について考え、公共の場での適切な行動について考えを深め、公の中での自分のあり方について気付かせることができる。また、生徒も教材の場面と似たような体験に遭遇していることも考えられるため、自分の言動を振り返り、自分のこととして捉えやすい教材でもある。

授業においては、授業支援クラウド“ロイロノートを使い「ミサとおじいさんのどちらの行動に共感できるか」という問いに対して共感できる度合いを数直線上に示し、心の変容を確認できるような工夫がなされていた。展開後半には「人に迷惑をかけないための配慮について」グループで話し合い、各班の意見をもとに議論しながら考えを深めていくことができた。

(2) 学習構想案（授業者 山都町立清和中学校 井芹 涼香 教諭）

1 学習構想

主題名	よりよい社会のために（内容項目 C-(10) 遵法精神、公德心）	
ねらいと教材	(1) ねらい 電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、公共の場での適切な言動を考え、公德心を持って行動しようとする態度を育てる。 (2) 教材名 宝塚方面行き一西宮北口駅	
評価の視点	評価の視点①	評価の視点②
	公共の場での適切な言動について、登場人物の言動から多面的・多角的に捉え、考えを深めている。	今までの自分の言動を振り返り、これからの自分の行動について考えている。
目指す生徒の姿（ゴールの姿・期待される姿）		
公共の場での適切な言動を考え、公德心を持って行動しようとする生徒		
主題に迫る学習課題（中心的な学習課題）		本主題で働かせる見方・考え方
みんなが気持ちよく過ごすために必要なことを考えよう。		公共の場での適切な言動について、多面的・多角的に捉え、人間としての生き方について考えること
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
各教科等	道徳科	日常生活
各教科の学習活動 ルールを守り、安全に気をつけながら、互いの頑張り認め、協力すること。	1年「選手に選ばれて」 主題名：義務について考えよう 1年「ゴミ箱をもっと増やして」 主題名：だれもが気持ちよく 2年「いいね」のために？ 主題名：正しい判断とは 2年 「宝塚方面行き一西宮北口駅」 主題名：よりよい社会のために 3年「缶コーヒー」 主題名：次世代のいない手として	キャリア教育 「基礎的・汎用的能力の育成」 自己理解・自己管理能力、課題対応能力を育成する。 掃除、あいさつ運動、委員会の清掃活動

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)																																		
中学校学習指導要領「特別の教科 道徳」内容項目 C主として集団や社会との関わりに関すること 10 遵法精神、公德心																																		
教材の価値																																		
電車通学をしているミサとマユミが、電車ですべていっしょに座れるように鞆を置いて席を取っていると、目の前に立ったおじいさんにいきなり大きな声で怒鳴られ、周囲の人から白い目で見られているという場面である。生徒もこれに似た体験や場面に遭遇していることが考えられる。自分自身が公共の場で適切な言動をとっているかどうかを振り返り、社会の一員としてどうあればよいかについて考えられる教材である。																																		
本主題における系統																																		
(省略)																																		
生徒の実態																																		
<p>■学習するにあたっての学級及び生徒の様子</p> <p>おとなしい学級であるが、協力したり、お互いに思いやりをもって行動したりする生徒が多い。学習に関しては意欲的に取り組む生徒が多いが、個人差は大きい。自分の意見を全体の前で伝えることが苦手な生徒が多いので、発表をする生徒が固定化している。帰りの会で1分間スピーチを行い、少しずつ自分の意見を伝えようとする姿が見られるようになった。</p> <p>■学習に関する意識の状況・本主題に関わる生徒の実態(アンケート調査12名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問事項</th> <th>○</th> <th>まあまあ たぶん○</th> <th>あまり たぶん×</th> <th>×</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お年寄りに電車やバスで席を譲るべきだと思うか。</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>お年寄りに電車やバスであなたは席を譲るか。</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>電車やバスで誰にでも席を譲るか。</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>人に迷惑をかけてもいいと思うか。</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>人に迷惑をかけたことがあるか。</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>■考察</p> <p>アンケートの結果から、お年寄りには席を譲るべきと全員が答えている。しかし、実際に譲れるかというところではない生徒もいる。正しい行動が何かわかっていても行動に移せない生徒がいることがわかる。</p> <p>電車やバスで自分が席を譲る立場になったときや、公共の場でどのように行動すべきか考えさせたい。</p>					質問事項	○	まあまあ たぶん○	あまり たぶん×	×	お年寄りに電車やバスで席を譲るべきだと思うか。	9	3	0	0	お年寄りに電車やバスであなたは席を譲るか。	5	3	4	0	電車やバスで誰にでも席を譲るか。	1	6	4	1	人に迷惑をかけてもいいと思うか。	0	0	1	11	人に迷惑をかけたことがあるか。	11			1
質問事項	○	まあまあ たぶん○	あまり たぶん×	×																														
お年寄りに電車やバスで席を譲るべきだと思うか。	9	3	0	0																														
お年寄りに電車やバスであなたは席を譲るか。	5	3	4	0																														
電車やバスで誰にでも席を譲るか。	1	6	4	1																														
人に迷惑をかけてもいいと思うか。	0	0	1	11																														
人に迷惑をかけたことがあるか。	11			1																														

3 指導に当たっての留意点

校内研修の取組の視点から	
研究主題	主体的に学ぶ生徒の育成 ～授業改善とキャリア教育の充実をとおして～
研究仮説	
仮説①	単元や題材における学習過程を明確にして単元の魅力を共有し、自ら学習課題を解決する学習活動を設定すれば、「主体的に学ぶ生徒」を育むことができるであろう。
仮説②	自己の学習活動を振り返る場面を設定し、生徒が達成感を味わったり、必要な課題を発見したりすることができれば、「主体的に学ぶ生徒」を育むことができるであろう。
本単元における仮説の検証	
仮説①	仮説①について人に迷惑をかけないための配慮について考える場面での班活動での発言やワークシートの記述で検証する。
仮説②	仮説②については振り返る場面で、これからの自分の行動について考えているか、ワークシートの記述や発言で検証する。

4 本時の学習

(1) ねらい

電車内のミサとおじいさんとのやりとりを通して、公共の場での適切な言動を考え、公德心を持って行動しようとする態度を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)	備考
せ 5分	<p>1身の回りについて考える</p> <p>①他人の行動で迷惑に感じるものの例から今の自分ならどのように行動するか考える。 ◇注意する ◇静かにしてと言う ◇一緒にしゃべる</p>	<p>●あなたならどのような行動をとるか考えてみよう。 □映画館で映画の内容について友達が話しかけてきた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題】 みんなが気持ちよく過ごすために必要なことを考えよう。</p> </div>	
	<p>【テーマ】よりよい社会のため</p>		
い 15分	<p>2 教材を読んで考える。</p> <p>①教材の範読 CD を聴く。</p> <p>②ミサとおじいさんのどちらの行動に共感できるか。理由も考える。(個人) ◇ミサは他の人のことを考えてない ◇友達のためと思ってしたのかも ◇おじいさんは強く言いすぎ ③周りのお客さんの気持ちを考える。 ◇迷惑だな ◇おじいさんも怒りすぎ</p>	<p>・範読後、簡単に登場人物の確認を行う。</p> <p>●ミサとおじいさんどちらの行動に共感できる？ ・ロイロノートで、共感出来る度合いを数直線上に書かせ最初と最後の変容を確認できるようにする。 ●周りのお客さんはどう思っただろう？ ・ミサとおじいさんだけでなく、周りの人も関係していることに気づかせる。</p>	<p>タブレットワークシート</p>
わ 10分	<p>3 人に迷惑をかけないための配慮について考える(グループ)</p> <p>①おじいさんが伝えたかったことは何か考える。 ◇きみたちがきちんとした大人になるためだよ ◇周りに迷惑をかけちゃダメだよ ◇自分たちさえよければいいというのはダメだよ</p>	<p>●おじいさんはミサに何を伝えたかったのだろうか？</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>評価の視点1 公共の場での適切な言動について、登場人物の言動から多面的・多角的に捉え、考えを深めている。</p> </div>
い 15分	<p>②今までの自分を振り返り、これからの生き方につなげて考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【期待される学びの姿】 公共の場でのマナーを守ろうという気持ちを持ち、自分さえ良ければいいという考えではなく、相手の気持ちも考えることができる。</p> </div>	<p>●みんなが気持ちよく過ごすために必要なことは何だろうか？(中心)</p> <p>・電車の中での過ごし方や導入での映画館での過ごし方など今までの自分の行動を振り返りながら考えさせる。 ○ミサとおじいさんどちらの行動に共感できるかも一度聞く。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>評価の視点2 自分の生活を振り返り、これからの自分の行動について考えている。</p> </div>
こ 5分	<p>4 教師の話聞き、今の思いを綴る。</p>	<p>●今日の道徳で考えたことや気づいたことを書きましょう。</p>	